

「関東ふれあいの道」に行く

5年前、会山行として東海自然歩道（東京都八王子市高尾の「明治の森高尾国定公園」から大阪府箕面市箕面の「明治の森箕面国定公園」まで、11都府県約90市町村にまたがる長さ1,697km）を、2012年4月21日から2018年4月15日にかけて完歩してきました。

この度（2022年）、関東地方一都六県をぐるりと一周する長距離自然歩道、全160コース、総延長1,803kmの「関東ふれあいの道（首都圏自然歩道）」が整備されました。

曰く、「東京都の八王子市梅の木平を起終点に、高尾山、奥多摩、秩父、妙義山、大平山、筑波山、九十九里浜、房総、三浦半島、丹沢などを結んでいます。美しい自然を楽しむばかりでなく田園風景、歴史や文化遺産にふれあうことのできる道です。」と。

縄文弥生そして古墳時代から今日に至るまでの関東の歴史や文化の縦と横の痕跡を、山を通じて辿る旅になるのではないのでしょうか。

シリウスは、「2023年活動計画」において、この「関東ふれあいの道」に、取り組むこととしました。

会山行として、定期的実施するとともに、「何時でも、何処からでも、誰とでも」、会員各位に参加頂き、リレー方式でバトンを繋ぐように達成することを目指すものです。

また、各位の実施報告をジャーナル等へ寄せて頂くことで、有意義な情報共有と新たな会員交流の場となることを期待しています。

<関東ふれあいの道ルート図>



<パンフレット(東京版)>

